全済新聞　H25.8.6(火)　山本さん　（第三種郵便物認可）

旧帝国大で脈々と続けられる寝技中心の柔道がある。「七帝柔道」といい、大宅壮一ノンフィクション賞などを受賞した評伝「木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか」で紹介され、知名度を上げた。団体戦で引き分けを狙う「分け役」に徹するなど、戦略を生かして活躍できるのが特徴だ。

延々続く寝技の攻防

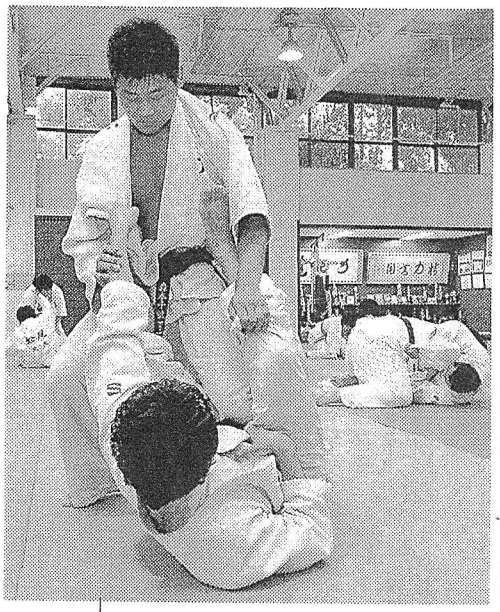
伝統引き継ぐ「七帝柔道」

評伝の筆者、増田俊也さんも腕を磨いた北海道大の武道場。7月上旬、柔道部の練習が始まってから30分後、寝技への移行を指示する森本千誠主将(21)の掛け声が響く。約30人の部員は残りの2時間をひたすら寝技に没頭し、練習後も技の研究のため、輪をつくる。

七帝柔道は、明治後期から旧制高校などで取り組まれていた高専柔道が起源。戦後の学制改革で旧制高校が消滅したが、旧帝大の柔道部OBたちがルールを引き継いだ。

五輪や世界選手権に採用される立ち技中心の国際柔道連盟(IJF)ルールは、講道館柔道の流れをくみ、七帝柔道ルールと大きく異なる。

七帝柔道ルールでは立ち技もあるが、寝技への「引き込み」が認められ、組んですぐに引き込める。反則や負傷以外、「待て」はめったに掛からず、試合では寝技の攻防が延々と続く。勝ち負けは「一本」のみで決し、それ以外は引き分けになる。



寝技への「引き込み」の練習をする北海道大学の柔道部員たち＝7月3日、札幌市

知名度アップ、選手奮起

各校が総決算と位置付けるのが毎年6月にある全国七大学柔道優勝大会。1チーム15人の勝ち抜き試合で、勝ちを狙う「抜き役」と、「分け役」とに役目を分担する。

体格や技術が劣る部員でも寝技を集中的に練習することで分け役として活躍できるチャンスがある。逆に高校時代までの経験が七帝柔道でも通用するとは限らない。

北大柔道部1年の本田健太さん(20)は高校時代に神奈川県大会の90キロ以下級でベスト16の実力者だが、「自分より体の小さい選手にも負けてしまう」と苦笑する。

今年の七大学柔道大会に分け役で出場したが、結果は1分け2敗。引き込みを駆使されて立ち技が満足に使えず、寝技では歯が立たなかった。「寝技は論理的だから練習量が結果に影響しやすい。奥深い」と、既に来年に向けて鍛えている。

ただ、各校とも部員不足が深刻だ。ことしの大会で名古屋大や京都大などは選手登録枠の20人を満たせなかった。

それでも森本主将は「(本の刊行で)モチベーションは上がっている。体格や才能が劣っていても勝機を見いだす七帝柔道の伝統をつなぎたい」と誇らしげに語った。

日中感情、過去最悪に

歴史問題の対立鮮明

「相手に悪印象」9割

共同世論調査

日本の民間非営利団体「言論NPO」は5日、日本と中国で6～7月に中国英字紙チャイナ・デーリーと共同で行った世論調査の結果を発表した。

悪印象の主な理由には日中とも領土をめぐる問題と歴史問題が挙がり、昨年9月の日本政府による沖縄県・尖閣諸島の国有化が両国の対立を深めたとみられる。

良くない印象の理由(複数回答)で日本人は「尖閣をめぐる対立」がトップで53・2%。「歴史問題などでの日本の反省が足りない」が37・3%増の90・3%。ただ日中関係が「重要」と答えた人の割合は双方とも7割を超えた。

中国人は「日本が釣魚島の領土紛争を引き起こし、強硬な態度を取っているから」が77・6%で、「歴史についてきちんと謝罪し、反省していないから」が63・8%。

日中関係について「悪い」と答えた日本人は前年と変わらず62・7%で、中国人は82・2%で22・3%に対し、中国人は52・7%だった。

また日中間に領土問題は「存在する」と答えた日本人は前年と変わらず62・7%で、中国人は82・2%で22・3%に対し、中国人は52・7%だった。

調査は日本人千人、中国人1540人を対象に実施した。別に両国の有識者にも調査した。(共同＝木梨孝亮)

最低賃金、大詰めの協議

あす答申　上げ幅10円台で攻防

中央最低賃金審議会は、現在の全国平均

北海道　弟子屈町　経産